

# 日米交流の芽 育てて70回

## 日米学生会議 首相・国務長官も輩出

日本と米国の大学生らが1カ月近く合宿生活をしながら議論を交わす「日米学生会議」が、今年で70回目を迎える。太平洋戦争などで2度中断しながらも続けられ、出身者には故・宮沢喜一元首相やキッシンジャー元米国務長官ら、日米交流に貢献してきた人が少なくない。8月に米国内で開かれる本会議には、両国から約70人が集う。

会議は、1931年の満州事変で悪化した日米関係を憂慮した日本の学生4人が提案し、34年に初めて日本で開かれた。太平洋戦争や資金難などから2度の中断を経て、64年から日米で交互開催が定着した。

これまでの参加者は両国合わせて計約5千人。出身者には、評論家の竹村健一さんや元三菱商事社長の横原稔さんらがいる。宮沢元首相は39、40年の第6、7回会議に参加し、後の夫人

は……』と話すのが印象的だった」と振り返る。日米貿易摩擦の嵐が吹き荒れた80年代後半、フクシマさんは米国通商代表部の日本担当として交渉に従事した。日本の外務省の担当

者である協議の中間報告をまとめた際には、学生会議の分科会で日本側の議長と報告書を作成した経験を思い出したという。東京大学在学中の86年、米国開催の第38回会議に参

加した脳科学者・茂木健一郎さん(55)は、銃規制や核兵器による抑止の問題を議論した時、両国の学生の感覚が違うことを肌で感じた、と振り返る。「前提とされていることが違う日米の学生がひざをつき合わせて向き合うのは、ものすごく貴重で恵まれた環境でした」

## 名大生「日本の良さを伝えたい」

今年両国の学生各36人が8月6日から約3週間かけて、首都ワシントンなど4都市を訪問する。七つの分科会に分かれ、教育や環境、働き方や家族のあり方といった問題について、英語で計数十時間に及ぶ議論を繰り広げる。

6月中旬には学生らで企画した新潟県佐渡市での自主研修に参加。プロ和太鼓集団の研修所や、廃校を使って日本酒造りを行う酒造会社などを見学した。「米

側にも影響力を強める中国に関する知識が欠かせなくなっている。こうした変化をふまえ、日本側の参加者は7月初め、中国での研修を企画し、北京の大学生と議論をした。長谷川さんは「70回という節目の会議にふさわしいものになるよう、学生らしい自由な発想を生かして議論していきたい」と言う。(佐藤剛志)

名古屋大学医学部4年の木下朋さん(23)は日本側メンバーと週に1、2回、無

料のビデオ通話サービスを使って打ち合わせを重ねてきた。6月中旬には学生らで企画した新潟県佐渡市での自主研修に参加。プロ和太鼓集団の研修所や、廃校を使って日本酒造りを行う酒造会社などを見学した。「米

側にも影響力を強める中国に関する知識が欠かせなくなっている。こうした変化をふまえ、日本側の参加者は7月初め、中国での研修を企画し、北京の大学生と議論をした。長谷川さんは「70回という節目の会議にふさわしいものになるよう、学生らしい自由な発想を生かして議論していきたい」と言う。(佐藤剛志)



●日本側実行委員長を務める長谷川信寿さん(左)、実行委員の押切彩さん(中)と李呂威さん=東京都新宿区  
●日米学生会議に参加する名古屋大学の木下朋さん=名古屋市昭和区



料のビデオ通話サービスを使って打ち合わせを重ねてきた。6月中旬には学生らで企画した新潟県佐渡市での自主研修に参加。プロ和太鼓集団の研修所や、廃校を使って日本酒造りを行う酒造会社などを見学した。「米側にも影響力を強める中国に関する知識が欠かせなくなっている。こうした変化をふまえ、日本側の参加者は7月初め、中国での研修を企画し、北京の大学生と議論をした。長谷川さんは「70回という節目の会議にふさわしいものになるよう、学生らしい自由な発想を生かして議論していきたい」と言う。(佐藤剛志)

### 日米学生会議の主な出身者

敬称略	主な肩書
吉野文六(故人)	元外務省アメリカ局長
宮沢喜一(故人)	元首相
横原稔(88)	元三菱商事社長
ヘンリー・キッシンジャー(95)	元米国務長官
竹村健一(88)	評論家
八城政基(89)	元新生銀行社長
今井義典(73)	元NHK副会長
グレン・S・フクシマ(68)	元エアバス・ジャパン社長
猪口邦子(66)	参議院議員
高橋和夫(66)	放送大学名誉教授
茂木健一郎(55)	脳科学者
尾崎裕哉(29)	シンガーソングライター